

# 勾まが 玉たま

先日、花川南小学校で行われた「勾玉づくり」(あそびの城主催)の手伝いに行ってきました。当日

は、保護者も含め約150人もの参加者があり、大盛況でした。参加者は皆、

2時間足らずのうち、きれいな勾玉を作って帰りました。

勾玉は縄文時代後半(約3千年前)から古墳時代にか

志美遺跡出土の勾玉(左3つ)と筆者の勾玉(右1つ)  
※実物は右側の勾玉長さ3.5cm



けて使われた装身具です。材質は、石やガラス、牙きばなどです。有名なものは、古墳時代の勾玉です。日本書紀では「曲玉」と書き、古事記では「曲玉」の字を使っています。

今回は石の勾玉を作りました。勾玉に使われる石には、ヒスイ、こはく、滑石かすいなどがありますが、今回は滑石を使いました。滑石は、化粧品やベビーパウダーなどに使われる石です。柔らかく、つめで削れるほどで、加工が簡単です。この石は北海道にもありますが、今回は韓国産の滑石を使いました。勾玉は形が英字のC字形をしています。片方が丸く片方がややとがっています。丸くなっている方に穴が開けられ、ひもを通して首から下げます。なぜ、C字形をしているのか、よく分かりませんが、動物の牙(例えば熊やオオカミなど)の形をまねたのではといわれています。

縄文時代などでは、勾玉などの玉たまはたんに美しさだけでなく、それ自体に不思議な力があると考えられていたようです。ですから、



現代の玉造たまつくりたち  
(平成17年6月25日撮影)  
※勾玉をつくる職人のこと



強い動物の牙をかたどってさらに力を増したいという願いがあったのではないのでしょうか。現代でも、石の力を信じたり癒しなどを求める人が少なくありませんが、こうした現象は、縄文などはるか昔の人の心が伝わっているせいかもしれません。

上の写真は、石狩市新港東の志美遺跡(約2千年前)から出土したヒスイ製勾玉と筆者製作の滑石勾玉です。このヒスイ製勾玉は、新潟県糸魚川付近で作られたもので、それがはるばる石狩に渡り、発見されたものです。

(石橋孝夫)

■文化財課・いしかり砂丘の風資料館 ☎62-3711

✉i-museum@bz01.plala.or.jp

■石狩浜海浜植物保護センター ☎60-6107

✉ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

# 大募集!!

●広報紙への感想や批評、市への質問など何でもお寄せください。  
※匿名希望の場合もお便りには名前・住所・電話番号を必ず明記してください。  
〒061-3292 石狩市役所 広報いしかり 係  
☎72-3153 ☎74-5581 ✉PR@city.ishikari.hokkaido.jp



所 樽川4条1丁目600-1  
4.5haの公園内に今回オープンした「子供の森」は、遊具広場・徒渉池・噴水の3つのゾーンからなっています。  
※「子供の森」は7月23日から開設しています

## 21世紀に向けて、シンボルとなる公園づくりを目指して

**Q** 「石狩ふれあいの杜公園」の「子供の森」がオープンすると聞きましたが、遊具等はどのような決まったのですか？

**A** 「石狩ふれあいの杜公園」の「子供の森」の遊具は、「木の砦」・「石の砦」・「土の砦」の3つのテーマからなっていて、子どもたちの想像力をかきたてる、楽しい空間になっています。

遊具の下には木材のチップを敷くなど安全面で、これまで以上に配慮しているほか、市内で2つ目となる噴水には、園内に設置されたソーラーパネルでエネルギーをつくり出し、水を循環させるなど、環境面にも配慮しています。

## 教えて!市役所

市民の皆さんから寄せられた声をもとに、市役所からご提案するコーナーです。よりよいまちづくりを目指し、今後も市民の皆さんからの市政に対する要望や提案をお待ちしています。

●子どもたちのアイデアを形にした。「子供の森」の遊具は、子どもたちのアイデアから生まれました。

南線小学校の6年生134人を対象にワークショップが開かれたのは今から4年前。子どもたちに「あったらいいな」と思う遊具を、絵や牛乳パックを使った模型で自由に表現してもらいました。それらが遊具の原型になっています。

### ●市民アンケートを実施

現在、市内には133の公園がありますが、同公園は、造成前に市民の皆さんにアンケートを実施して作られた公園です。平成10年に、花川南・樽川両地区に住む10歳から75歳まで市民500人を無作為抽出して行いました。大変多くの回答があり、中でも「色とりどりの樹木や花に囲まれた憩いの場にしてほしい」という要望が最も多く寄せられました。



中央に見える「ゆらゆらスカイウォーク」は、「土の砦」と「石の砦」を結ぶネットの“つり橋”(一部遊具は6歳未満のお子さんの場合、保護者同伴で遊んでください)。

今後は「緑のセンター(仮称)」や「環境学習池」などが造成される予定で、平成20年の全面開園を目指しています。

21世紀の石狩のシンボルとなる公園の完成ももうすぐです。

## 緑豊かなまちづくりをすすめます

●みどりの課 ☎72・6122

当課では、公園建設のほか、公園のリニューアルも行います。リニューアルに際しては地元住民の皆さんを対象にワークショップを開催しますが、最近「子どもから高齢者まで幅広い世代が利用できる公園」づくりがキーワードになっています。なお、今年度は花川南大空公園がリニューアル予定になっています。

このほか、公園の維持管理や緑化推進、森林管理事務の業務がありますが、意外なところでは、墓地の整備・管理も当課の担当です。

みどりに関する問い合わせは、みどりの課へお寄せください。

